

編集後記

新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」が急速に拡大しています。読者の皆さまもくれぐれもご用心くださいますようお願いいたします。

さて、最近、人工知能 (AI) 技術の進歩が理学療法の現場でも議論されることが多くなりました。「患者との直接的なかわりや徒手の技術の多い理学療法はAIにとってかわられない」と思っていた人も少なくないと思いますが、現実には動画による自動動作解析や転倒予測など理学療法分野でのAIの応用が広く認識されるようになってきました。同様に本号特集の「低侵襲手術」の進歩もとどまるところをありません。患者の身体の負担が少ない低侵襲手術は、術後の回復が早く、入院期間も短いことから、AI同様脅威に感じている理学療法士も少なくないかもしれません。しかし、技術の進歩はどの時代にもあったことでわれわれはそのつど順応してきました。筆者が理学療法士になりたての平成初期は大腿骨頸部骨折後8週間の安静が普通だったことは今の世代の人たちには想像もつかないでしょう。本号ではさまざまな低侵襲手術とその後の理学療法について解説いただきました。どの論文も理学療法のエビデンスと新たな役割の重要性について論じています。

人間は専門的に判断するときには論理的思考に加えて、かなりの割合で経験に基づいた直感で判断したり行動したりしています。すなわち、論理的思考と経験に基づく直感的判断とのバランスが重要なのです。論理的思考はAIに任せても、直感的な判断は直に人に接する経験が重要なのです。バランスといえばClose-up欄「自律神経」。理学療法の片翼である運動療法が異常な自律神経系活動を是正することに加えて、もう一つの翼である物理療法が自律神経系を体外から変調することが可能な非侵襲的な刺激法というのには果てしない可能性を感じますし、時代に合った非侵襲的な刺激法としてさらなる発展を期待したいと思います。

最後に、昨年9月に本誌編集委員の山田英司先生が急逝されました。情に厚く、臨床上に熱い先生でした。平田先生の「とびら」にあるように、AIにはできない「山田英司ならではのスキルや情熱」が次の世代に引き継がれていくことでしょう。故野村克也氏の座右の銘「金を残すのは三流、名を残すのは二流、人を残すのが一流である」を借りれば、彼ほどの一流と議論できなくなったことは残念でなりません。謹んでご冥福をお祈りいたします。(高橋哲也)

編集顧問

安藤徳彦 上田 敏
大川弥生 高橋正明
鶴見隆正 奈良 勲
福屋靖子 吉尾雅春

編集委員

網本 和 内山 靖
金谷さとみ 高橋哲也
永富史子 福井 勉
村永信吾 横田一彦

編集同人

石田水里 上西啓裕
大場みゆき 加藤 浩
神谷健太郎 甲田宗嗣
河野礼治 小塚直樹
酒井桂太 佐藤房郎
白谷智子 瀬崎 学
塚田鉄平 塚本利昭
中林美代子 中村春基
野添匡史 日野 工
平川善之 平野明日香
深浦順一 星 文彦
増田知子 諸橋 勇
八木麻衣子 山本綾子

理学療法ジャーナル 第56巻 第2号

2022年2月15日発行(毎月1回15日発行)

定価: 1,980円(本体1,800円+税10%)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5704

(担当: 有賀・伍井・川上・前野)

販売部直通 (03) 3817-5659

FAX (03) 3815-7802

E-mail ptj@igaku-shoin.co.jp

Web https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/551

振替口座 00170-9-96693 番

デザイン Highcolor (三宮暁子)

印刷所 三報社印刷株式会社 ☎ (03) 3637-0005

広告申込 (株)医学書院 ☎ (03) 3817-5696

2022年 年間購読料(12冊, 税込, 送料弊社負担)

▶ 冊子版 21,912円 ▶ 冊子+電子版/個人 25,212円

▶ 電子版/個人 21,912円

▶ 冊子版/学生割引 17,556円 ▶ 冊子+電子版/学生割引 20,856円

▶ 電子版/学生割引 17,556円

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2022, Printed in Japan

• 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有しています。

• 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて、業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

• **©copy** (出版者著作権管理機構委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

*「理学療法ジャーナル」は、株式会社医学書院の登録商標です。